

身体的拘束を最小化するための 当院の取り組み

当院は、患者さんの尊厳および人権を尊重し、
身体的拘束の最小化に取り組んでいます。

基本方針と具体的な取組

患者さんの尊厳を守るため、
身体的拘束を原則行いません
当院では、患者さんの自由と尊厳を最
優先に考え、安易な拘束を行わない方
針を掲げています。



身体的拘束最小化チームが
解除に向けた代替策を検討
します



寄り添う「ケア」の実践
常に一人ひとりに寄り添った看護
を実践し、安全な療養環境を整え
ます。



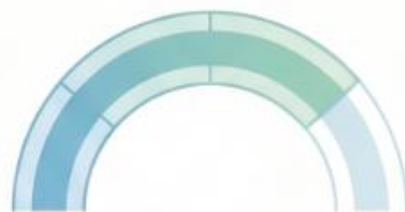
十分な説明を行い、
ご本人・ご家族の意向を
尊重します

やむを得ない場合のリスクを丁寧に
ご説明し、意向を十分に聴取した上
で対応します。



実施状況の公開と目標

透明性の高い情報公開と
目標達成に向けた管理



令和7年度 第4四半期 実施割合 (1~3月)	 0.1%
当院の目標値	3.0%以下

実施状況を数値化して公開し、
目標値である3.0%以下の維持に努めます。

やむを得ず身体的拘束を行う場合には、
最小限の方法で、必要最小限の時間に限定します。